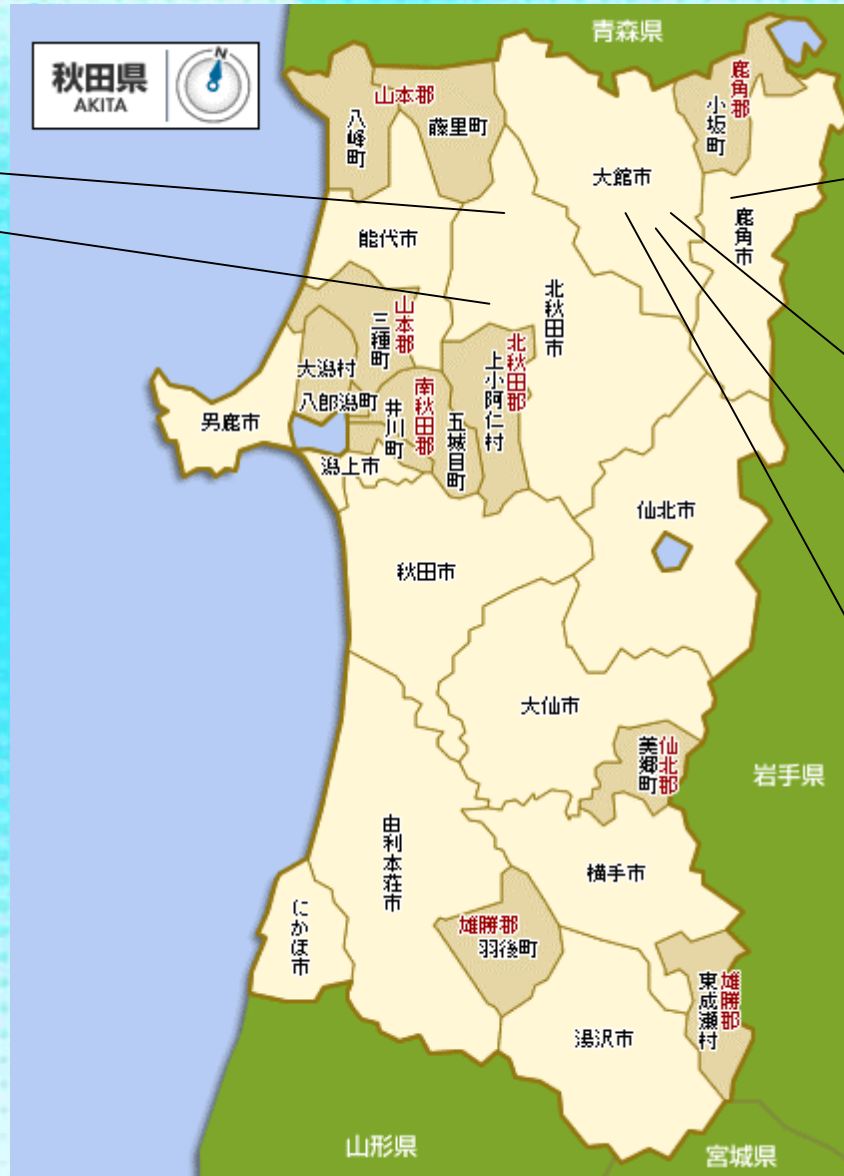


# 大館北秋鹿角地区における臨床薬剤師栄養 研究会の立ち上げについて

大館北秋鹿角臨床薬剤師栄養研究会(大館北秋鹿角Nutrition Pharmacist Seminar: NPS)  
秋田労災病院 薬剤部 田村 悟、 鹿角組合総合病院 薬剤科 田村 亘

# 大館北秋鹿角地区(秋田県)

北秋中央病院  
公立米内沢総合病院



鹿角組合総合病院

秋田労災病院

大館市立扇田病院

大館市立総合病院

## 目的・方法

- 大館北秋鹿角臨床薬剤師栄養研究会(大館北秋鹿角 Nutrition Pharmacist Seminar: N P S)は、大館北秋鹿角地区の病院薬剤師を中心に輸液・臨床栄養分野およびリスクマネジメントの学術的知識の向上と研究、NST活動に向けた情報交換をはかり輸液栄養療法の進歩、発展を目的とし立ち上げた。
- 平成16年9月より、大館北秋鹿角地区の6施設(秋田労災病院、大館市立総合病院、大館市立扇田病院、鹿角組合総合病院、公立米内沢総合病院、北秋中央病院)が参加し、3ヶ月に1回のセミナー、施設発表、基礎アンケート(確認問題)などを開催した。

# 開催内容

- 第1回:平成16年9月8日(水)  
テーマ:「輸液栄養処方 understanding に向けて～理論・処方考察のトレーニング」  
講師:株式会社大塚製薬工場 応用開発部 臨床栄養担当
- 第2回:平成16年12月2日(木)  
テーマ:「栄養管理の考え方 アセスメント、プラン、ドウ」  
講師:株式会社大塚製薬工場 応用開発部 臨床栄養担当
- 第3回:平成17年3月9日(水)  
テーマ:「輸液栄養処方 understanding に向けて～処方考察に必要な情報の整理～」  
講師:株式会社大塚製薬工場 応用開発部 臨床栄養担当
- 第4回:平成17年6月15日(水)  
テーマ:「知っておきたい経腸栄養療法のポイント～メリット&デメリット～」  
講師:株式会社大塚製薬工場 応用開発部 臨床栄養担当
- 第5回:平成17年9月14日(水)  
テーマ:「医療現場から寄せられる問題事例の分析 - 特に輸液調剤時における事例について -」  
講師:(株)大塚製薬工場 輸液情報センター・センター長
- 第6回:平成17年12月14日(水)  
テーマ:「医療現場から寄せられる問題事例の分析 ...配合変化や使用時安全性に関する事例等について...」  
講師:(株)大塚製薬工場 輸液情報センター・センター長

# 開催内容

- 第7回:平成18年3月8日(水)
  1. 情報提供:第21回日本静脈経腸栄養学会報告 ~NSTプロジェクト・栄養管理のトピックスについて~  
(株)大塚製薬工場 応用開発部
  2. 施設発表:「当院のNSTラウンドの現状報告」大館市立総合病院 薬剤部  
(特別講義):病態別栄養管理の実際「糖尿病の栄養管理について」大館市立総合病院 第3内科 部長
- 第8回:平成18年6月14日(水)

「輸液栄養処方設計と考察 ~輸液栄養処方コンサルテーションシステム ADMICS を利用した実践~」  
(株)大塚製薬株工場 営業本部 営業企画担当
- 第9回:平成18年10月4日(水)

情報提供:~医療安全からみた輸液栄養製品について~ (株)大塚製薬工場 応用開発  
(特別講演):「栄養療法に関する輸液の基礎知識」奥羽大学 医療薬剤学 教授
- 第10回:平成19年3月7日(水)

施設発表:1、「当院における栄養管理についての現状報告」鹿角組合総合病院 薬剤科  
2、「当院のNSTラウンドと栄養管理実施加算への薬剤師の関わり」大館市立総合病院 薬剤部  
情報提供と勉強会:トピックス:「第22回JSPEN(日本静脈経腸栄養学会)報告」  
勉強会:「栄養アセスメントの実践」株式会社大塚製薬工場 応用開発部
- 第11回:平成19年6月6日(水)
  1. 輸液栄養 第1回 基礎アンケート(確認問題) 鹿角組合総合病院 薬剤部 田村 亘先生
  2. 勉強会 テーマ:「多様化する食品経腸栄養剤 その理解と活用法」株式会社大塚製薬工場 応用開発部
- 第12回:平成19年10月11日(木)

情報提供 ~医療安全からみた輸液栄養製品について~ (株)大塚製薬工場 応用開発  
(特別講演):「原点から見るNST」~NSTにおける薬剤師の役割を考える~ 近畿中央病院 薬剤部長

# 開催内容

- 第13回:平成19年12月12日(水)  
テーマ「第1回 輸液栄養 基礎アンケート(確認問題)の分析と解説」  
講師:(株)大塚製薬工場 仙台支店 学術部
- 第14回:平成20年3月12日(水)  
テーマ「臓器別の輸液栄養 ~ 肝臓編 ~」  
講師:(株)大塚製薬工場 仙台支店 学術部
- 第15回:平成20年6月11日(水)  
テーマ「臓器別の輸液栄養 ~ 腎臓編 ~」  
講師:(株)大塚製薬工場 仙台支店 学術部
- 第16回:平成20年9月17日(水)  
1. 第2回 輸液栄養 基礎アンケート(確認問題)  
2. テーマ「経腸栄養管理の気になるポイント」  
講師:福島労災病院 栄養士
- 第17回:平成20年12月18日(水)  
1. 「JSPEN2009ポスター発表内容」 秋田労災病院 薬剤部 田村 悟  
2. テーマ「第2回基礎アンケート(確認問題)の結果と復習 ~ 前回との比較 弱点を探る ~」  
講師:(株)大塚製薬工場 学術部

# 研究会

- 平成20年12月時点、研究会を計17回開催し、会員薬剤師数35名、平均参加人数は27.9人であった。
- 栄養療法に関する基礎知識、栄養処方の理解に向けての理論・考察トレーニング、栄養管理の考え方、医療現場から寄せられる問題事例の分析、JSPEN報告、施設発表としてはNSTの現状報告や薬剤師の関わりなど10回研修後、平成19年6月に第1回基礎アンケートとして確認問題： × 式30問(栄養評価10問、末梢静脈栄養6問、中心静脈栄養7問、経腸栄養7問)10分を行った。参加薬剤師数は、31人であった。

# 研究会

- 平成20年9月に第2回基礎アンケートとして確認問題：  
×式50問(栄養評価10問、末梢静脈栄養6問、中心静脈栄養7問、経腸栄養7問、肝疾患12問、腎疾患8問)15分を行った。

第2回基礎アンケート(確認問題)は、薬剤師以外に栄養士も参加した。

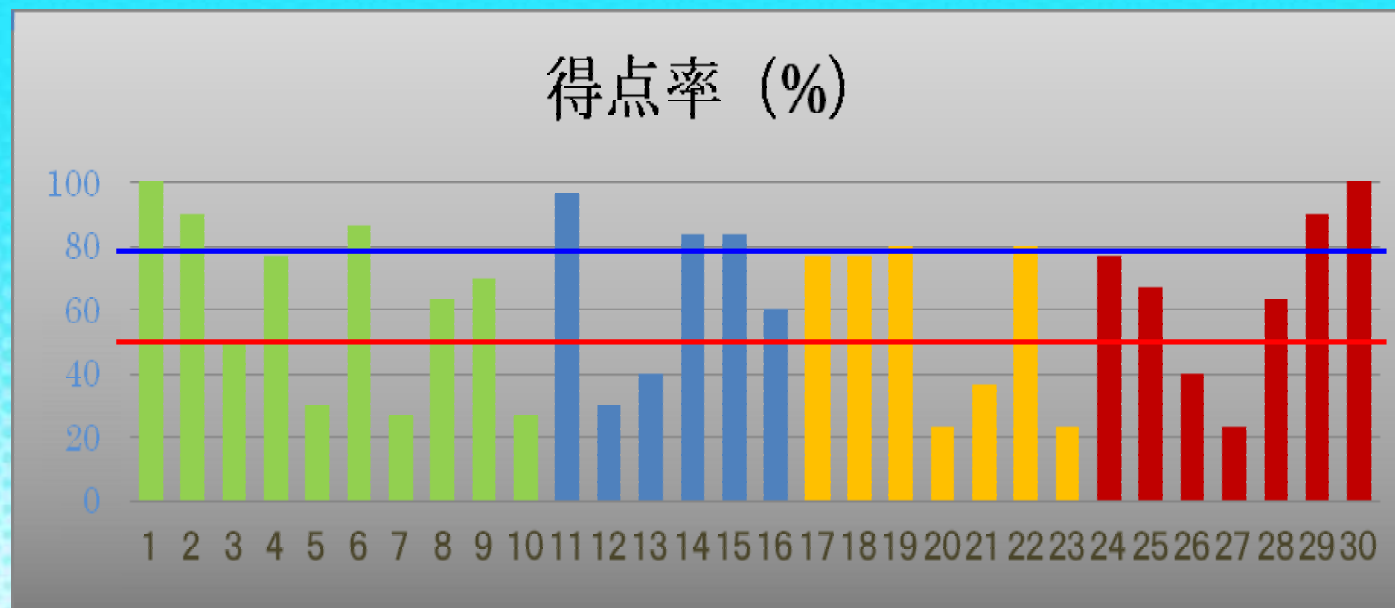
参加人数は、薬剤師30人、栄養士6人であった。

# 第1回確認問題結果(薬剤師):平均点と得点率

全体及び各分野ごとの得点率

	平均点	得点率
全体	18.7/30	62.30%
栄養評価	6.20/10	62%
末梢静脈栄養	3.96/6	66%
中心静脈栄養	4.03/7	57.50%
経腸栄養	4.60/7	65.70%

(参加薬剤師:31人)



\* 緑: 栄養評価、青: 末梢静脈栄養、黄: 中心静脈栄養、赤: 経腸栄養

## 第2回確認問題結果：平均点と正解率(得点率)

薬剤師の平均点及び正解率		
	平均点	正解率
全体	30.9 / 50	61.8%
栄養評価	7.5 / 10	75.7%
末梢静脈栄養	3.8 / 6	63.3%
中心静脈栄養	5.1 / 7	72.4%
経腸栄養	3.6 / 7	51.9%
肝疾患	6.3 / 12	52.8%
腎疾患	4.5 / 8	56.3%

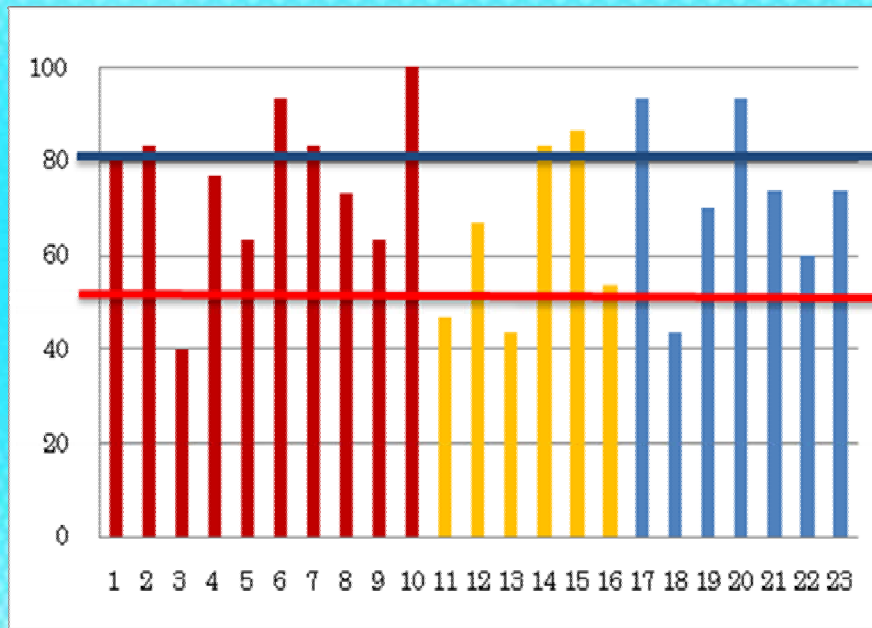
(参加薬剤師:30人)

栄養士の平均点及び正解率		
	平均点	正解率
全体	29.2 / 50	58.3%
栄養評価	7.8 / 10	78.3%
末梢静脈栄養	3.2 / 6	52.8%
中心静脈栄養	3.2 / 7	45.2%
経腸栄養	4.7 / 7	66.6%
肝疾患	6.7 / 12	55.6%
腎疾患	3.7 / 8	45.8%

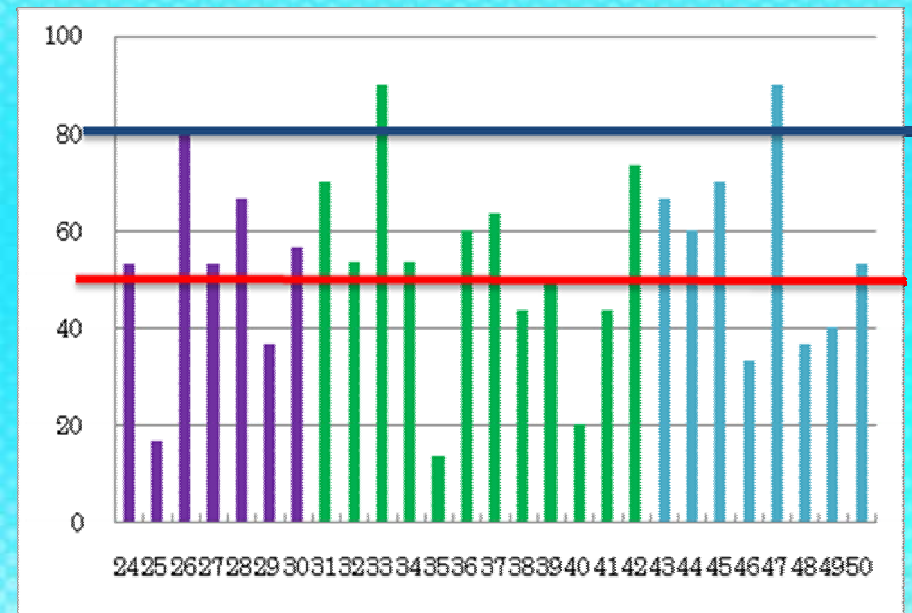
(参加栄養士:6人)

# 第2回確認問題結果：薬剤師の正解率(得点率)

薬剤師の皆様の正解率(%)



薬剤師の皆様の正解率(%)



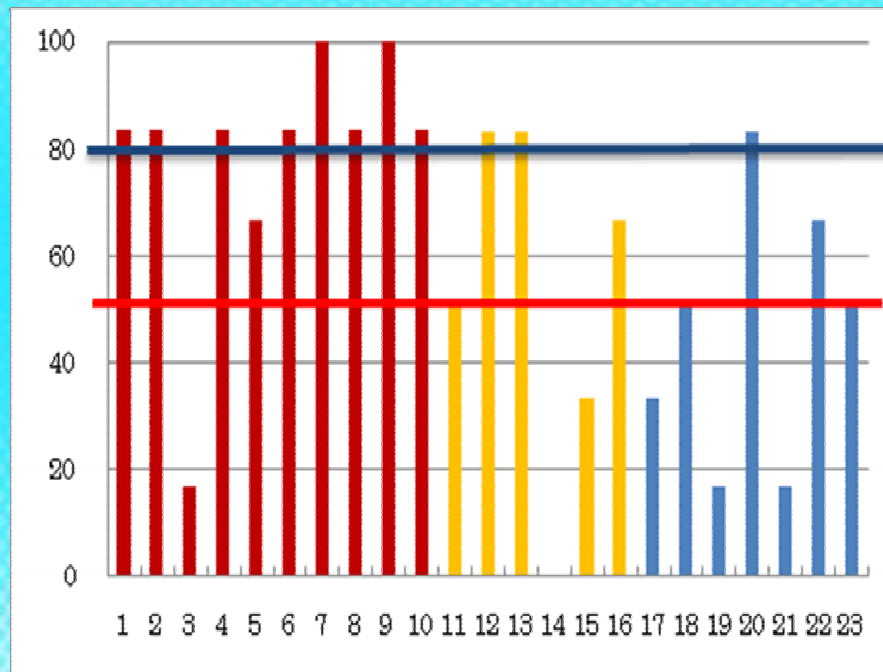
\* 赤: 栄養評価、黄: 末梢静脈栄養、青: 中心静脈栄養

\* 紫: 経腸栄養、緑: 肝疾患、水色: 腎疾患

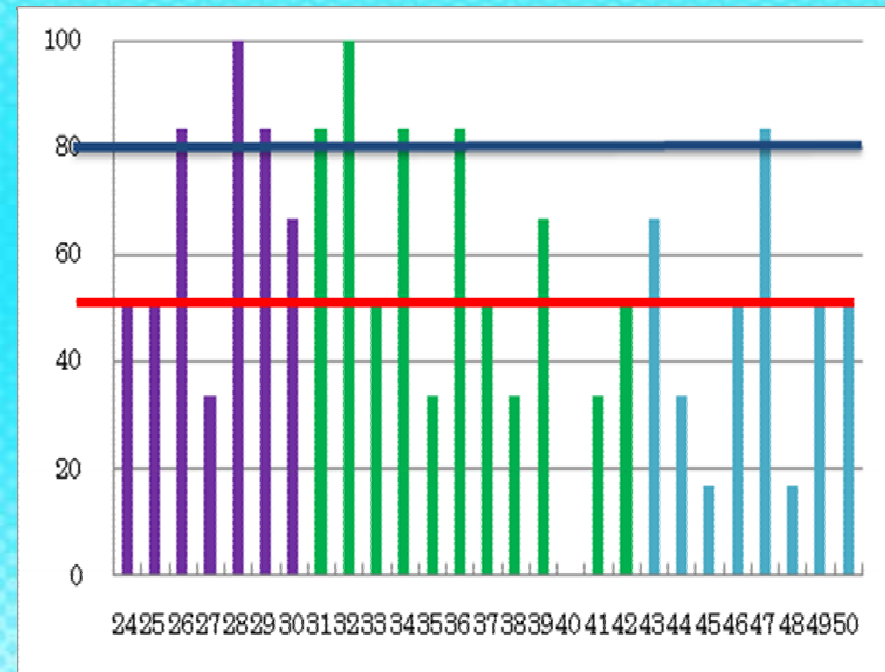
(参加薬剤師:30人)

# 第2回確認問題結果：栄養士の正解率(得点率)

栄養士の皆様の正解率(%)



栄養士の皆様の正解率(%)



\* 赤: 栄養評価、黄: 末梢静脈栄養、青: 中心静脈栄養

\* 紫: 経腸栄養、緑: 肝疾患、水色: 腎疾患

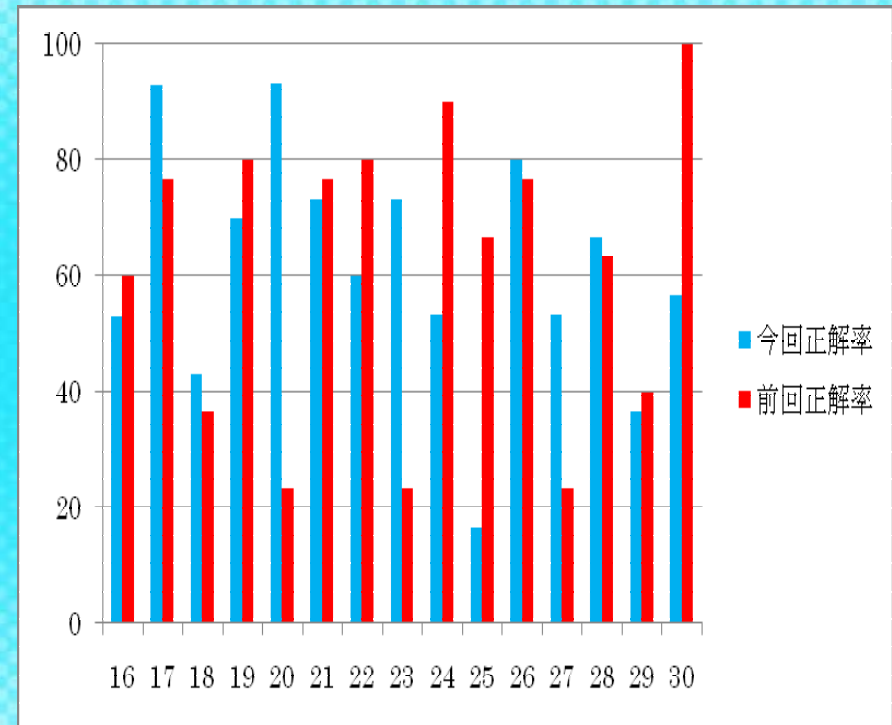
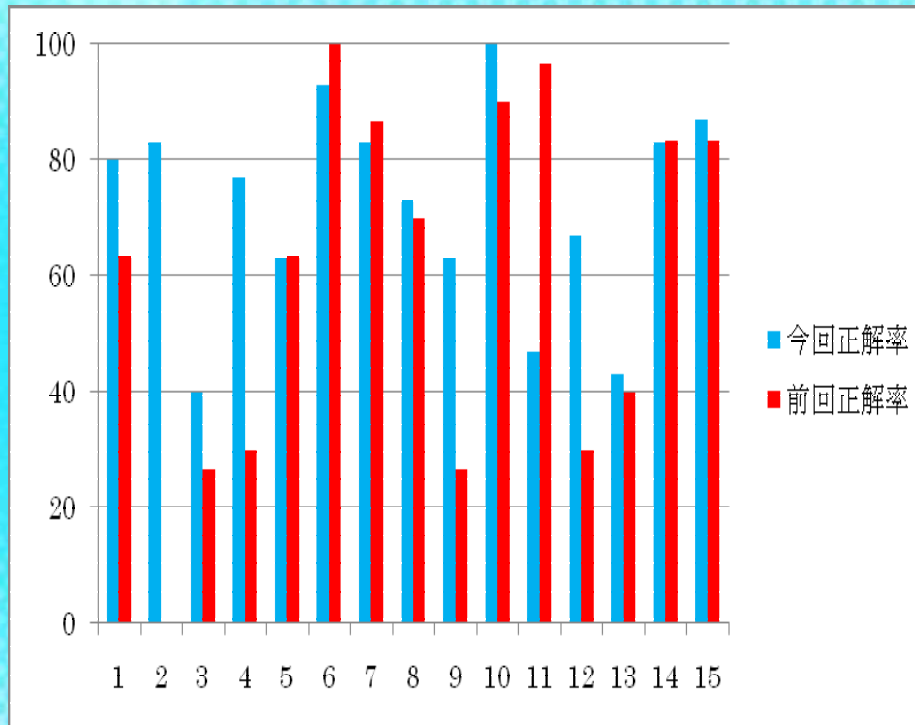
(参加栄養士: 6人)

# 第1回と第2回確認問題結果比較(薬剤師)

	第1回平均点	第2回平均点	第1回正解率	第2回正解率	
全体	18.7 / 30	20.1 / 30	62.30%	66.90%	
栄養評価	6.20 / 10	7.5 / 10	62%	75.7%	
末梢静脈栄養	3.96 / 6	3.8 / 6	66%	63.3%	
中心静脈栄養	4.03 / 7	5.1 / 7	57.50%	72.4%	
経腸栄養	4.60 / 7	3.6 / 7	65.70%	51.9%	

(第1回参加薬剤師:31人、第2回参加薬剤師:30人)

# 第1回と第2回確認問題結果比較(薬剤師)



\* 1 ~ 10問: 栄養評価、11 ~ 16問: 末梢静脈栄養

17 ~ 23問: 中心静脈栄養、24 ~ 30問: 経腸栄養

(第1回参加薬剤師: 31人、第2回参加薬剤師: 30人)

## 結果・考察

- 平成19年6月の第1回確認問題では、分野別で中心静脈栄養の得点率が57.5%と、他の分野より低い結果となった。また、得点率80%以上の設問は10問、得点率50%以下の設問は11問となった。

設問ごとに得点率の開きが非常に大きく、理解できている内容とできていない内容を浮き彫りにする形となった。理解できていない内容として、各分野共通で生化学関連の設問の得点率が低い傾向が見られた。

## 結果・考察

- 平成20年9月の第2回確認問題では、薬剤師は分野別で経腸栄養の正解率が51.9%と、他の分野より低い結果となった。また、正解率80%以上の設問は12問、正解率50%以下の設問は11問となった。  
栄養士は分野別で中心静脈栄養の正解率が45.2%と、他の分野より低い結果となった。また、正解率80%以上の設問は18問、正解率50%以下の設問は25問となった。
- 薬剤師では、前回よりも全体の正解率は高い結果となったが、末梢静脈栄養・経腸栄養は低い結果となった。今回追加になった、肝疾患：52.8%・腎疾患：56.3%とも正解率は低い結果となった。

## 結果・考察

- 栄養士では、正解率80%以上の設問数を、正解率50%以下の設問数が上回った。栄養評価の正解率は高い結果となったが、中心静脈栄養・腎疾患の正解率は低い結果となった。
- 第1回、2回の確認問題結果比較から、薬剤師は研究会参加により、「栄養評価」に関する知識の向上が見られたが、薬剤師に不足な知識として、「経腸栄養」であることが認識された。
- 計2回行われた確認問題は、現在の研究会の現状を把握し、今後の勉強会のテーマを模索する上では、有意なデータであると考えられる。今回のデータを元に、研究会の更なるレベルアップを図りたい。